



イイケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

第 649 回 ひがみ七訓

2015.10.4

ネットで『ひがみ七訓』なるものを見つけた。

フェイスブック、ツイッター、ブログなどの SNS を通じて広まっているようだが、作者は不明だそう。

改めてこの連載コラムに、掲載してみた。

ひがみ七訓

- 一、 つらいことが多いのは、感謝を知らないからだ
- 一、 苦しいことが多いのは、自分に甘えがあるからだ
- 一、 悲しいことが多いのは、自分の事しか考えないからだ
- 一、 怒ることが多いのは、我がままだからだ
- 一、 心配することが多いのは、今を懸命に生きていないからだ
- 一、 行きづまりが多いのは、自分が裸になれないからだ
- 一、 あせることが多いのは、行動目的がないからだ

わずか七行の言葉が、イチイチ心に沁み込んでくる。

生きているとつらいとき、苦しいとき、悲しいとき、怒るとき、
心配するとき、行き詰まるとき、あせるとき、色々あるものだ。

だからこの言葉も、捉え方、感じ方は色々であって良い。

ちょっと、ぐさっとくる言葉もあり、真実をついている部分もある。

作者不詳とのことだが、

これを作った人は自問自答しながら、自分を責めている。

これでもか、これでもか…というくらい、自己を否定している。

だから示唆深い面もあるが、なぜかネガティブな思考になってしまう人もあるかもしれない。

従ってタイトルが、『**ひがみ七訓**』となったのだろう。

でも、そんなことはどうでもいい…

「残りの人生で何度も読み直そうと思う言葉」にふさわしい一つを、ご紹介したと思っている。